



イノベーション政策研究会 第34回セミナー

2013年3月12日(火) 15:00～

「俯瞰工学の展望と期待」

東京大学 松島克守 名誉教授、早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 橋本正洋 教授
東京大学 政策ビジョン研究センター 坂田一郎 教授

◆日時 2013年3月12日(火) 15:00～17:30

◆会場 東京大学工学部9号館119号室
<http://ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp/jp/info/access.html>

◆参加費 無料

- ◆概要 「日本を救う蓄電池イノベーション戦略」 橋本正洋 教授
厳しいエネルギー事情の下で、新政権が掲げる経済再生を進めていくために必要なことは、再生可能エネルギー導入を進めつつ成長産業を育てていくことである。化石燃料と原発依存度を低減する鍵は、蓄電によるエネルギー構造改革である。一方、蓄電池産業は、電力用、自動車用、家庭用など大きな市場拡大が想定される有望な成長分野でもある。まさに、経済成長とエネルギー政策の二兎を追うことができる。本講演では、蓄電池産業を成長させていくためのイノベーション戦略を提案する。
- 「イノベーション支援の推進と実践の10年」 松島克守 教授
東京大学の俯瞰工学研究室と(社)俯瞰工学研究所で推進してきた2003-2013年のイノベーション支援の活動を紹介し、それを踏まえた次のステージを構想する。
- 「俯瞰工学の発展と未来」 坂田一郎 教授
東京大学イノベーション政策研究センターでは、自然言語処理、ネットワーク分析、機械学習、情報検索等の技法群を発展させるとともに、それらを統合、実装して、「学術俯瞰システム」と「中小企業取引先推薦システム(SMEET)」の2つのウェブシステムを構築してきた。また、研究成果を活かして、OECD、APEC、ERIA等の国際的な舞台におけるイノベーション政策形成に貢献してきている。こうしたことは、俯瞰工学が持つ高い可能性の一端を示したものだといえる。一方、俯瞰工学は、まだまだ発展途上の学問である。技法を更に発展させ、それらを効果的に組み合わせることによって、ロードマップや個別技術戦略の立案の等のために更に役立てることが出来ると考えられる。これまでの成果を踏まえて、俯瞰工学の今後を展望する。

◆プログラム

- 15:00-15:30 「日本を救う蓄電池イノベーション戦略」 橋本正洋 教授
15:30-15:40 質疑応答
15:40-16:10 「イノベーション支援の推進と実践の10年」 松島克守 教授
16:10-16:20 質疑応答
16:20-16:30 休憩
16:30-17:00 「俯瞰工学の発展と未来」 坂田一郎 教授
17:00-17:10 質疑応答
17:10-17:30 今年度の総括

- ◆主催 東京大学大学院 工学系研究科 総合研究機構 イノベーション政策研究センター TEL/FAX: 03-5841-1161(直通) E-mail: info@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp
◆申込 【イノベーション政策研究会 第34回セミナー参加希望】として、e-mailにてお名前・ご所属を info@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp までお知らせ下さい。

